



Premium Lecture

基盤医学特論
Tokuron Special Lecture

5D 細胞ダイナミクス研究センターにおける 各種研究への取組みと今後の生命医科学研究への展望

【講師】

- 国立研究開発法人科学技術振興機構 研究開発戦略センターフェロー 辻 真博 様
- 株式会社ヘルスケアイノベーション 代表取締役 宮田 満 様
- 名古屋大学大学院医学系研究科分子細胞免疫学 西川 博嘉 教授
- 名古屋大学大学院医学系研究科システム生物学 島村 徹平 教授
- 名古屋大学大学院医学系研究科分子細胞免疫学 日野原 邦彦 特任准教授

近年のシーケンス技術、各種オミクス技術、イメージング技術、および AI などの計算科学の進展に伴い、生命をシステムとして理解し、その動態を定量的に可視化、数理モデル化することが不可能ではない目標となりつつある。これを達成するためには、時空間情報を伴い、かつ定量的な分子・細胞の相互作用ネットワークの解明が必須であり、モデルから予測した分子の挙動とオミクス解析やイメージングによる計測によるデータを照合し、評価するというサイクルを回すことが重要である。これは一つの研究分野だけで達成できるものではなく、オミクス、イメージング、医学、工学、分子生物学、物理学、数理科学などの様々な関連分野の研究者が有機的に連携し、融合するアンダーワンルーフ型の研究推進体制を形成することが必要不可欠である。名古屋大学大学院医学系研究科では、2020年（令和2年）、ウェットラボとドライラボの緊密な連携により運営する医学・情報学融合解析研究拠点として、5D 細胞ダイナミクス研究センターを設立した。本講演では、本センターにおける各種研究への取組みを紹介するとともに、政府・産業界の方にもご講演いただき、一細胞研究の国内動向や将来展望について概説する。

日時	2020年1月30日（木） 午後5時から午後7時
Date	January 30, 2020 (Thu), 17:00 – 19:00
場所	鶴友会館2階 大会議室
Venue	Main Conference Room, 2nd Floor of Kakuyu Kaikan
言語	発表：日本語 パワーポイント：日本語
Language	Talk : Japanese, PowerPoint : Japanese
主催	プレミアムレクチャー実行委員会
Organizer	Premium Lecture Steering Committee